

基本目標	基本方向	掲載ページ
I ジェンダー平等の意識向上	1 ジェンダー平等の意識の形成	1~21
	2 ジェンダー平等教育の促進、充実	
<p>セミナーや講座の実施、また広報活動については十分に行われているものの、情報提供型の研修から事例検討や対話型の研修企画を増やす取組が必要では。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課や子育て支援課が担当する事業では、男女共同参画に繋がる内容になっているのか否かが不明なものが多い印象を受けました。 ・セミナーや講演会については、報告書でも述べられている「参加人数の減少・固定化」をどのように解消するかが最も重要な課題だと思われる。男女共同参画に対して関心が低い人にも話を聞いてもらう方法として出前講座は有効だと思われるので、こちらの回数を増やすことを検討してください。 ・コロナ禍の中でのフォーラム、セミナーの実施については、参加人数の減はやむを得ないと思われるが、課題として表れている「参加人数の減少・固定化が見られる」の是正を特に中高年男性を巻き込む様な事業を期待します。 ・16ページ、17ページの関係資料の収集・活用は、収集をメインに記載があるが、具体的な活用や提供をメインに記載してはいかがかと思えます。 ・為になる様なセミナーや講演会が実施されても、参加人数が少ないのは、せっかくの企画がもったいなく、残念に思う。 ・11月号女性の人権やめて！DVとある。DVの被害者は女性で加害者は男性である事が大半を占めると思うが、その逆もある事を忘れてはいけない。誤解している人が少なからずいると思う。 ・情報発信前に使用する写真やイラストについて、男女の偏りがないように配信→ジェンダー平等を心掛けるにはとても重要な事。あらゆる面でチェックは必要と思う。 ・古賀中学校では、学校開放日と合わせて開催する事で、多くの保護者が参加することができた。 →他の古賀北中学校や古賀東中学校でも学習会の内容によっては、同じようにしてはどうかと思った。 ・参加人数10人と思春期講座（リーパスカレッジ）の参加者が少ない。 ・今年は特に一般の応募者数が少なかった。→古賀市の物産品や古賀市で使える商品券などの商品があってもいいのでは？子どもには図書券などあっていいと思う。ただ、自らも毎年一行詩の選考に関わり感じているが、少しマンネリ化の傾向を感じており、選考する段階のディスカッションの過程で「男女共同参画」について考える機会をもらっている気がしている。「意識の形成」というのは対話や議論により醸成されるのではないかと思う。 ・情報提供型の研修から事例検討や対話型の事業企画を増やすことが重要ではないかと実感している。 ・「世界女性デー」に関するパネル展示は、分かりやすく、世界の動向、日本の現状、課題解決の方向性などが明確であり、素晴らしい市民啓発だと感じた。今年度も期待している。 ・一行詩は、子どもたちの鋭い視点や温かい視点を感じる。大人たちに固定的性別役割分担意識を振り返らせるメッセージになっている。また、子ども達の成長を毎年感じる。これからの男女共同参画社会を創っていく子ども達の意識づけになっているので、継続してほしい。また、表彰式などを啓発して参加者を増やしてほしい。輝きKOGAびとの表彰も目に見える形での人や企業、団体が対象なので、励みになって良いと考える。継続してほしい。 ・毎月の広報紙の掲載内容は、あらゆる人権課題が網羅されており、ジェンダー平等意識の形成、向上に効果のある啓発活動になっている。 ・新規採用職員に対する基礎研修で「男女共同参画とパートナーシップ宣誓制度について」の研修が実施されているのは、人材育成の視点からスタート時点での研修は、効果があると思う。 ・セミナーや講座の実施、広報活動は十分に行われていると思う。 ・子どもから大人に至るまで、あらゆる世代を対象にして様々な研修や考える機会が計画され、実行されていると感じる。 		

基本目標	基本方向	掲載ページ
Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画の実現	1 施策・方針決定過程への女性参画の拡大	22～55
	2 就労の場における男女共同参画と女性の活躍の促進	
	3 家庭生活、地域活動等における男女共同参画の促進	
	4 国際的視野に立った男女共同参画の促進	

審議会等における女性の登用率42.1%は評価できるものとする。今後も関係課と連携し市役所全体で徹底を。

- ・自治会長の構成で女性5人（10.9%）と少しずつ増えている。是非、区長会で評価し、女性の地域でのリーダー発掘・啓発をさらに努めてほしい。まちづくり推進課との連携を積極的にしてください。
- ・福祉課が担当する施策の多くが（P46,47,51）、など男女共同参画を意識した内容になっていたのか不明であり、評価が難しいです。
- ・事業所、商工事業主への研修実施回数が0回だが、そもそも「古賀市企業内人権・同和問題研修推進委員会」は、年2回程度、あらゆる差別をテーマとして研修していることから、成果指標にあげることに無理があると思われる。
- ・依然として、自治会役員名簿（隣組長）の提出の際に、慣習的に世帯主名で届を出されることが多いので、実際に業務をしている方で届けてもらうよう、啓発に努めている。→ほぼ、奥さんがやっているのに、ご主人の顔を立てて、世帯主の名前で届を出す傾向がまだ根強くあるように思う。うちの場合は、PTAや自治会の役員はいつも私が受けて、私の名前で届けてましたが、隣組長だけは、少しはやってもらいたいと思い、主人の名前で出しました。結果4割程度は、やってもらえて良かったです。そんなパターンの家もあります。
- ・男性の育児休業取得者が向上したのはいいが、それで家庭の女性がどの位負担が減って、どれだけ良かったのか、その結果がどうなのかが大事と思う。アンケートをして、真実がわかればいいが・・・。
- ・再就職応援セミナーの参加者が2人と非常に少ないのがもったいなく思う。
- ・中高年と女性の就職セミナーは、今後需要が増えてくると思う。ぜひ続けて欲しい。
- ・初心者向け庭木剪定法入門講座は知ってたら行ってたと思う。こういう生活に役立つ講座をどんどんやって欲しい。男性・女性それぞれ苦手な事を区別なく参加出来、苦手をなくせたらいいと思う。
- ・「国際女性デー」3/8女性ならば、又本当にジェンダー平等を願う人なら知って当然の日。パネルの展示や出張講座で14名の参加とあるがもっと盛大にやって欲しいです。でないと本当にジェンダー平等にする気あるの？この日頑張らなくてどうするの？どれだけこの日をアピールできたの？とか、もっと女性が居心地良くなる為にとか、もっと女性が居心地良くなる為に、この日やれる事があるんじゃないかといういろいろ考えていました。コロナがなかなか終息せず、もどかしい状態ですが、今後は本気で考えて欲しい。
- ・近頃、ニュースで男女格差の世界順位が146カ国中、日本は125位で過去最低の結果と出ました。私たちがこうして時間を割いてやっている事に意味はあるのだろうか疑問に思う。
- ・10人（男女5:5）参加者の年齢層や参加目的などから事業の評価や今後の方向性が検討できるでしょ？男女共同参画計画の計画と事業内容と成果・課題の関連性がもう少し明瞭に記述されると良いのではないかと思います。
- ・来所者（無料職業紹介所）求職者何人中採用者〇名、性別の割合、就職につながらなかった理由、そこにどのような理由があるのかで男女共同参画で検討すべき課題が見つかるのでは。
- ・事業内容の5WIHがあると、成果や課題が理解できるのでは。
- ・市民意識で固定的性別役割分担意識の賛成派49.9%反対派が53.9%。反対派が大きく増加したのは、今までの啓発活動、学校教育、社会教育の成果だと考える。
- ・P53の写真展の企画は、ユニークで効果的な取り組みで素晴らしいと感じました。
- ・審議会等における女性の登用率は若干下がったが42.1%は評価できるものとする。今後とも、市役所全体での徹底を期待します。

基本目標	基本方向	掲載ページ
Ⅲ 男女の自立と社会参画に向けた環境整備	1 ワーク・ライフ・バランスの確立と社会参画への支援	56～85
	2 生涯を通じた健康管理への支援	

男女が共に自立し社会参画できるよう、継続的、計画的な取組が必要では。

- ・学童保育所の入所児童が増える傾向にある中「指導員の確保が難しくなっている」と記述されているが、指導員の勤務条件を向上させるなどの施策を具体化してほしい。
- ・基本目標Ⅲの事業の多くが、男女共同参画との関連性が明確でなく、いずれも評価が難しいです。
- ・性的自立に関する取り組みが充実している点は高く評価できるので、今後も継続して頂きたい。
- ・ワーク・ライフ・バランスのモデル事業所の紹介に関しては、モデル事業所の発掘からして難しいと思われるが、がんばって欲しい。
- ・妊娠・出産から子育て期まで、あらゆる相談を受け取る「ワンストップ窓口」や子育て応援サポートは子どもを授かる女性が受ける苦痛を少しでも軽減させるのにとっても役立っていると思うので切れ目のない支援を今後も実施して頂きたいと思う。
- ・待機児童ゼロをめざすのは大事だが、その前に保育側の受入れ体制に問題ないか、保育士の質や数にもきちんと目を向けて欲しい。
更に保育士の不満にも目を向けて、園内の問題を先に改善するべきと思う。
- ・「男女がともに仕事と介護が両立できるよう支援体制を充実します。」を継続して欲しい。
- ・女性のライフステージにおける健康問題や心の悩み等を気軽に相談できる体制を充実させ、女性向けの健康診査の受診を呼びかけをしているが各がん検診とも受診率が低迷。
→女性にとって有難い企画なのに、受診者が少ないのは、特定年齢の女性のみ子宮頸がんや乳がん健診の無料クーポン券を配布している為、受けたいタイミングと合わないかも。
- ・市内事業所（企業？）と連携した事業については記載量が少ないように感じます。商工政策課なども様々な取り組みを行われているのではないのでしょうか。
- ・終活セミナー、人生会議 コラボで事業展開できるとそれぞれのneedsに合った活動になるような気がします。
- ・待機児童ゼロ堅持は、女性の自立と社会参画の環境整備として、重要な支援になっている。

基本目標	基本方向	掲載ページ
IV あらゆる暴力の根絶と被害者支援	I あらゆる暴力の根絶と被害者支援	86～103
<p>予防のための啓発と被害者支援ともに十分な取組ができていると感じるが、男女が共に学び認識度を高めてデートDVの当事者にならない様予防対策の強化が必要では。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デートDV防止講座を福岡女学院看護大学1年生（104人参加）に実施、（P88）デートDV予防・防止のための学習会を市内3中学校で実施は、できれば、市内の高校などでも実施して、男女が共に学び認識度を高めて、デートDVの当事者にならない様、予防対策を強化してもらいたい。 ・DV相談（高齢者虐待として対応）該当ケースなし→もしいたとしても相談するにはとても勇気がいる事なので、家族にもDVにしても誰にも言えないまま悩み続けている人達がまだ多くいる事と思う。 ・セクハラ・パワハラの問題は、様々な取り組みがなされていると感じている。しかし身近な組織の中で考えてみても啓蒙や啓発を繰り返しても、当事者の感覚がそもそもずれているので、本質的な問題解決に至りにくく、また組織内にハラスメント委員会など作っても問題解決に至るような対話などに導けるようなコーディネーターが組織内には存在せず、限界を強く感じている。 ・予防のための啓発と被害者支援、ともに十分な取組ができていると感じます。 		

古賀市男女共同参画計画（令和4年度事業） 意見/評価 取りまとめ

基本目標	基本方向	掲載ページ
V 性別にとらわれない多様な生き方の尊重	I 性の多様性への理解促進	104～107
<p>パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の運用、市民への啓発、当事者の交流会と、多面的に取組ができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティー交流会（2回開催）9/11（日）9人、1/21（土）8人→今後も継続すれば、交流の和が広がるだろうし、もし肩身の狭い思いをしていた人がいたならば、これを機に気持ちがあぐれたらいいと思う。プライド月間の取組（6/1～30）は、知らなかった。興味深い気づいたらその期間は過ぎていた。他の所でもそういった何かをしたのだろうか・・・と気になった。 ・人形遊びや教材を使用しながら、遊びの中から性の多様性を考えていった（保育所）。LGBTQについて、全小中学校で学習を実施。→などは、早い時期から性の多様性について学ぶ事で、それが当たり前の事となり、自然の性として捉えられれば性的マイノリティーの人達を含めた平和への前進につながると思える。 ・パートナーシップ宣誓制度の運用、市民への啓発、当事者の交流会と、多面的な取組ができていると思います。 ・レインボーフラッグの掲示など、古賀市の取り組みは、メディアを通じて広々紹介されていると感じている。 		